

## 原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について ( 2023年2月 検針分 )

2022年9月～2022年11月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。

原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

なお、2023年2月分(1月使用・2月検針分)のガス料金から、電力・ガス価格激変緩和対策事業の政府支援を踏まえた値引きが反映されています。

### ●平均原料価格

	単位	2022年8月 ～ 2022年10月	2022年9月 ～ 2022年11月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	152,790	152,010	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	97,440	96,380	
平均原料価格	円/トン	150,670	149,870	46,100

平均原料価格=LNG平均価格×0.9541+LPG平均価格×0.0502

(10円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \quad (\text{平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき}) \\ &= 149,870 - 46,100 = 103,700 \text{ 円/トン} \\ &\quad (100円未満端数切捨て) \end{aligned}$$

### ●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

$$\text{調整単位料金} = (\text{基準単位料金} + 0.084 \times \text{原料価格変動額} \div 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率})) - 30 \text{円} \quad \text{※1}$$

(小数点第3位以下の端数切捨て)

※1:政府支援で30円/m<sup>3</sup>(税込)が値引きされます。

### ●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2023年2月 検針分 調整単位料金 ※2	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	222.65	288.46	65.81
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	163.59	229.40	65.81

	単位	(A) 2023年1月	(B) 2023年2月 ※2	(B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	319.20	288.46	▲ 30.74
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	260.14	229.40	▲ 30.74

### ●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

2023年2月 検針分の単位料金は、2023年1月 検針分 に比べて、1m<sup>3</sup>(45MJ)当り

▲ 30.74 円(消費税込)、標準家庭(26m<sup>3</sup>)では月額 ▲ 799 円の調整を行うこととなりました。

1ヶ月分使用量(m <sup>3</sup> )	(A) 2023年1月	(B) 2023年2月 ※2	影響額 (B)-(A)
26	8,934	8,135	▲ 799

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)

※2: 政府支援を踏まえた30円/m<sup>3</sup>(税込)の値引きがされています。詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」をご覧ください。(https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/)